



令和元年度 小笠原村立小笠原小学校

学校だより

12月号 (R1. 12. 2)

T E L 04998-2-2012

校長 横山 優美

誰もが安心して、豊かに！ ～人権週間～

校長 横山 優美

いよいよ師走に入りました。朝夕は肌寒く、小笠原も冬の到来を感じます。先日の展覧会には多くの皆様にご来校いただき、ありがとうございました。子供たちの個性あふれる作品はいかがでしたか。1つ1つの作品に、自分の夢や想いをたくさん詰め、見る人すべてに届けることができました。温かな励ましの感想を多数お寄せいただけましたことも大きな励みとなりました。思いを表現するための活動は、図工の学習だけでなくいろいろな教育活動の中で行っていきます。これからも子供たちの「表現する力」を大いに伸ばしていきたいと考えています。

さて、12月4日～10日は人権週間です。子供たちと共に人権について考えていきたいと思います。人権 (human rights) とは「人間としての権利」のことです。人は生まれながらにして幸せに暮らす権利があり、その権利を奪ったり脅かししたりしてはならないことなのです。ですから、仲間はずれや無視するなどのいじめにつながるような行いも絶対にあってはならないのです。しかし、人権は人にとって水や空気のように当たり前であり、人が生きていく上で絶対必要ですが、あまりに当たり前なので普段はあまり意識されていないように思います。でも、断たれば「命」までも奪われるものなのです。

人権が侵害されるとき、そこには人の「偏見」と「差別」が生じています。「偏見」とは、かたよった見方、考え方、意見などのことをいいます。しっかりとした根拠がないのに、他人や集団などを否定したり、嫌ったり、避けたりする言動や感情のことです。「差別」とは本人の努力によってどうすることも出来ない事柄で不利益な扱いを受けることです。では、偏見や差別を防ぐためにどうしたらよいのでしょうか。それには、「正しい認識」をもつこと、「真実」を知ることがとても重要なのです。

人は見た目で90%を判断するとも言います。見た目というのはその人のほんの僅かな情報だと思いますが、人はそれだけで他人を判断しがちです。これが偏見や差別につながっていく要因にもなります。子供たちの様子を見ていても、見た目やまわりの雰囲気に流されてしまうことが往々にしてあります。加減をしないで徹底的に相手を追い込んでいくこともあります。傷つく言葉を相手に浴びせても、悪びれる様子もなく平然としていることもあります。きちんとした根拠や事実がないのにその場の雰囲気で相手を非難することもあります。

だから、人権教育が必要なのです。その教育の中で「違いを互いに認め合う」ことが大切だと教えることが重要です。子供たちにも分かりやすい言葉で表現すると、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」です。友達と自分との違いを認め合い、互いに支え合いながら生活していくことの大切さについて考えさせていきます。いろいろな価値観を認め合える、時には譲歩をする、時に自己主張をする、そんなことができる子供たちを育てていきたいと思います。

行事予定

1	日		17	火	仲良しお弁当会
2	月	全校朝会 保護者会 図書ボランティア整備日	18	水	ヨーグルト食 クリーンセンター見学 (4年)
3	火		19	木	大神山公園植物観察 (4年)
4	水	音楽朝会 (1年発表) ヨーグルト食 安全指導 ハンカチチェック 地域清掃	20	金	
5	木	誕生日集会 マイマイ授業 (1年)	21	土	4時間授業 (10/11分)
6	金	図書ボランティア 委員会 避難訓練	22	日	
7	土		23	月	全校朝会
8	日		24	火	大掃除 お弁当(終) 5時間授業
9	月	全校朝会 漁協見学 (3年)	25	水	終業式
10	火	小笠原海運見学 (3年)	26	木	冬季休業日(始)
11	水	音楽集会 (4年発表) 補食 (3・4・5年チヨコパン) 租税教室 (6年) ワク・芝	27	金	
12	木	ヨーグルト飲 大村海岸植物観察 (4年) マイマイ授業 (1年)	28	土	
13	金	図書ボランティア SC	29	日	
14	土	PTA もちつき大会	30	月	
15	日		31	火	大晦日
16	月	全校朝会 就学時健診 (5年以外4時間授業)			

SC・・・スクールカウンセラー来校日

余裕をもって行動しよう（けがの防止）

低学年

落ち着いて行動し、けがをしないようにしよう

中学年

時間を見ながら行動し、けがを未然に防ごう

[illegible]

余裕をもって行動し、けがを未然に防ごう

あわてて行動すると忘れ物をしたり、けがをしてしまったりします。あわてず焦らず、落ち着いた生活ができるように、時間を見ながら行動しましょう。

<生活目標>

進んで仕事をしよう

低学年

進んでそうじをしよう

中学年

進んで係の仕事をしてよう

高学年

進んで学校の仕事をしよう

学校にはたくさんの仕事があります。日直の仕事、係の仕事、委員会など。決められたことだけではなく、自分から仕事を見つけていくことも大切です。一人一人が意識をもって取り組めるように指導していきます。

展覧会

担当 小野里 雅由

11月22日（金）、23日（土）に本校で展覧会が行われました。子供たちは自分の作品だけでなく、展覧会の会場を飾る共同作品の制作も協力して一生懸命取り組みました。また5、6年生が行ったインスタレーション・アートでは、高学年らしい発想や工夫が自然と表れてくる姿が良かったです。会場の準備を6年生、片付けを5年生がしてくれましたが、高学年らしい働きぶりがとても頼もしかったです。夜の展示のおがしょうドリームライツでは、カラフルな夜の校舎が幻想的で良かったという意見を多数頂きました。ありがとうございます。

最後になりましたが、当日はインフルエンザの対応など皆様のご協力本当にありがとうございました。日頃から保護者様や地域の皆様に温かく育てられた素直で元気な子供たちと共に、今回展覧会を行うことができてとても楽しかったです。たくさんのご来場ありがとうございました。



- 1 冬休みの生活について
ご家庭で話し合って計画を立て、規則正しい生活を送れるようご配慮ください。
- 2 学習の定着について
これまで習ったことが身に付いているかの確認や、苦手なところの復習をしてください。
- 3 事故防止・安全について
多くの観光客が来島する冬。見知らぬ人の自動車に乗ったり、見知らぬ人から物をもらったりすることのないようにしてください。交通規則を守らせ、事故に遭わないよう、ご家庭でも十分ご留意ください。特に、自転車の利用については、十分な注意を払ってください。
また、SNSの取扱いについて、家庭で約束などを話し合ってください。

総合的な学習の時間

担当 松丸 弘樹

3年生から行う総合的な学習の時間では、南洋踊りや太鼓、アオウミガメをはじめとした固有種や希少種を教材とした授業、「小笠原」の自然や人と関わる学習活動を行っています。各学年の主な活動を紹介します。

【文化】



南洋踊り(3年)



小笠原太鼓(4年)

タコノ葉細工(6年)

【自然】



オガサワラ

オオコウモリ(3年)



小笠原の植物(4年)



アオウミガメ(5年)



アホウドリ(6年)

【小笠原と私】



小港キャンプでの活動(5年)



世界遺産に関する学習(6年)

浄水場見学（11月11日）

担当 松丸 弘樹

4年生は、社会科「わたしたちのくらしと水」の学習で、浄水場を見学させていただきました。普段何気なく使っている水が、どのような工程を経て、自分たちのもとに届いてくるのか、実際の浄水作業の見学や担当の方のお話を通して学びました。ダムも見学させていただき、どれほどきれいになるのかということを実感することができました。毎日ダムの様子の観察や機器の点検など、自分たちの生活を支えるために働いてくれている人がいるということが分かり、一層水を大切にしようという気持ちが高まりました。

今後は、下水道の処理やごみの焼却についても、見学などを通して私たちの暮らしがどのように守られているのか学んでいきます。



小中高合同地域学校保健委員会

担当 阿部 大樹

11月27日（水）、小笠原中学校にて、「知って得する！小中高の発達段階に応じて必要な栄養を摂るためのヒント～児童生徒のお弁当、栄養士さんによる栄養計算～」と題し、小中高合同地域学校保健委員会が開催されました。

はじめに、養護教諭会から、身長・体重・体力テストの小中高の結果を東京都の平均と比較した内容の発表があり、小中高通じて体の成長はゆっくりである一方、身体能力は高い傾向にあることがわかりました。

続いて、守本栄養士・上田栄養士からお弁当（学校で提供している牛乳を含む）の実態調査についての発表があり、エネルギー量は内地の給食の基準値よりも多く摂れていることがわかりました。それに関わらず、身長・体重の平均が低いということは、島内の児童生徒の消費エネルギーが多く、更にたくさん摂る、あるいは3食＋補食等、より十分な栄養を摂る必要があるとわかりました。また、栄養素では鉄・カルシウム・食物繊維が不足しがち、食材では芋類・豆製品類・種実類・きのこ類・小魚類が不足しがちであることもわかりました。

小中高合わせた集計やお弁当調査は、おそらく島内としては初めての試みであり、大変貴重な発表でした。調査件数の課題はありますが、今回の調査で明らかになったことは数多くあり、小中高と連携し、系統性をもった食育・保健指導を実践していく必要性を強く感じました。お弁当調査等、今回ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

